

II「島之内地区」について

- ・「島之内」は、東西南北を江戸時代に開削された人工河川(北から時計廻りに長堀川・東横堀川・道頓堀川・西横堀川)に囲まれた”島の内側”にあたることからこのように呼ばれた。
- ・南北に通る道筋は、「東横堀筋」から西へ「帯屋町筋」、「板屋橋筋」、「八百屋町筋」、「堺筋」、「千年町筋」、「中橋筋」、「三休橋筋」、「井池筋」、「心齋橋筋」、「御堂筋」、「佐野屋橋」、「大黒橋筋」、「炭屋町筋(西横堀筋)」となっている。
- ・現在の町名は、東から西へ堺筋以東が「島之内1丁目」と「島之内2丁目」、堺筋と井池筋の間が「東心齋橋1丁目」と「東心齋橋1丁目」、井池筋と御堂筋の1つ西の筋との間が「心齋橋1丁目」と「心齋橋2丁目」、その西側が「西心齋橋1丁目」と「西心齋橋2丁目」となっており、その南の堺筋より以西の道頓堀川沿いは「宗右衛門町」になっている。なお、1丁目と2丁目は周防町通を境にして、北側が1丁目・南側が2丁目になっている。
- ・島之内には、職人名の町名が多く、「大工町」、「鍛冶屋町」、「畳屋町」、「笠屋町」、「車町」や「木挽町」、「銚屋町(金細工)」などがあつた。

1.「住友銅吹所」と”住友の浜”

- ・長堀川の南岸、島之内の東横堀(安福橋)から長堀橋までの一画、「鰻谷」と呼ばれる地に泉屋(住友の前身)が設けた銅の精錬所(「住友銅吹所」)があつたことから、この付近の長堀川沿いを”住友の浜”と呼んだ。

「住友銅吹所」

- ・京都で銅商「泉屋」を興し銅の南蛮吹を開発した住友家2代目の理兵衛友以(トモチ)が、元和9年(1623)に大坂へ出て内淡路町に銅吹所を開設した後、寛永13年(1636)、水運に恵まれたここ長堀茂左衛門町に大規模な銅吹所を開設し、住友家の基礎を築いた。元禄3年(1690)には住友本店・居宅を併設され、ここで日本の銅生産量の約1/3が精錬されたが、明治9年(1876)に銅吹所は閉鎖された。(敷地は東西130m、南北約40mで、東半分が銅吹き所の作業所、西半分が本店・居宅であつた。)

- ・そのあと、住友家本邸とされていたが、大正4年(1915)に本邸が茶臼山(現・慶沢園)に移されたあとは、昭和20年まで住友家別邸として使われた。この間の明治12年(1879)、洋館や庭園が造られたが、その東側に建設された洋館風のビリヤード場が現在も保存されている。

- ・なお、現在、この地には10階建ての「三井住友銀行第一事務センター新館」が建っている。



独立建物のビリヤード場としては日本最古のもの

2.「ヨーロッパ通り(村)」=周防町通り

- ・周防町通りのうち、御堂筋から堺筋まで東西約500mが「ヨーロッパ通り」の愛称で親しまれている。ヨーロッパ風の雰囲気ある石畳の歩道や昔ながらの風格あるレンガ作りの建物が軒を連ねているところから、御堂筋を挟んで西側のアメリカ村に対し「ヨーロッパ村」とも呼ばれている。戦後に新装された街並みには洒落た喫茶店・洋品店・美容院などが店を構えている。

「長崎堂 心齋橋本店」

心齋橋筋2丁目1

- ・大正8年(1919)創業のカステラ店で昭和26年(1951)4月から心齋橋に本店を構える。

御菓子司「庵月堂」

心齋橋筋2丁目8

- ・慶応4年(1868)、神戸で創業の和菓子店。戦後に大阪へ進出してきた。

「タカラベルmont(株)」

東心齋橋2丁目1

- ・大正10年(1921)に西成区で日用品鋳物を製造する「宝鋳造所」として創業され、理美容部門へ進出して、昭和26年(1951)10月、「タカラベルmont(株)」を設立し、堺筋周防町

交差点・南西角に本社を置く。特に、理容椅子・美容椅子では世界トップシェアを誇る。
「バーバリー 心齋橋店」 心齋橋筋2丁目8
「ダンヒル心齋橋タワー」 心齋橋筋1丁目6 以上2店は14頁・参照

3. その他の主な施設と店舗等

- (1)「大阪市立南中学校」 島之内1丁目10
 - ・昭和22年(1947)、南区で最初の中学校(市立南第一中学校)として創立され、当初は、廃校となっていた大阪市立金甌小学校(現・大阪市立中央小学校の場所=瓦屋町)内の仮校舎でスタートしたが、翌年、西心齋橋(アメリカ村の一角)の旧大阪市立御津女子商業学校跡地に新校舎が新設され移転した。
 - ・昭和60年(1985)3月、島之内(旧大阪市立南高等学校グラウンド跡)に新校舎が竣工。平成7年には 第2運動場も完成して、現在に至っている。
 - ・大阪市立南小学校と大阪市立高津小学校を通学区域とする。
- (2)「大阪市立南小学校」 東心齋橋1丁目14
 - ・都心部のドーナツ化に伴う児童の減少により、昭和62年(1987)に当時の南区にあった大宝(ダイホウ)・道仁(ドウニン)・芦池の3小学校を統合し、現在地にあった旧大宝小学校を本校として設置された。さらに平成7年には大阪市立精華小学校も統合された。その後、道仁小学校跡地は島之内図書館(後記)、芦池小学校跡地(南船場3丁目)は市立南幼稚園になっている。
 - ・芦池尋常小学校からは山崎豊子 が、精華小学校からは藤山寛美が卒業している。
- (3)「南警察署」 東心齋橋1丁目5
 - ・清水町通り沿いの堺筋より1筋西角にある。
 - ・旧・南区に相当する安堂寺町1・2丁目、松屋町から難波千日前、日本橋1・2丁目に至る区域を管轄しており、管内に道頓堀を含む大阪有数の繁華街「ミナミ」地区があることから、歓楽街対策の専門部署として、「ミナミ特別警察隊」が設置されている。
 - 昭和56年3月、宗右衛門町でノーパン喫茶1店を公然わいせつ罪容疑で摘発しており、全国で初めてのノーパン喫茶摘発とされる。
- (4)「大阪南郵便局」 東心齋橋1丁目4
 - ・昭和24年、長堀橋筋一丁目に開局し、昭和39年(1964)7月に局舎が新築された。
 - ・平成2年 ” 花の万博 ” 開催に合わせて定められた花をかたどった風景印の図柄は、梅の花の外枠に国立文楽劇場と道頓堀川を描いたものが用いられている。
- (5)「大阪市立中央屋内プール」 島之内2丁目7
 - ・平成13年10月にオープンした大阪市立の屋内温水プール(25m・6コース)で、トレーニングジムも備えており、水泳教室も開かれている。
 - ・この地(竹屋町18)はもと「南区役所」が置かれていた所で、明治42年に長堀橋筋1丁目から移転して以降、平成元年2月「中央区」になるまでこの地にあった。
 - なお、「中央区役所」は、久太郎町1丁目2に新設された。
- (6)「島之内図書館」(中央会館) 島之内2丁目12
 - ・平成元年9月オープンの大阪市立図書館。図書館はビル3階にあり、1・2階は中央会館、4・5階は大阪市立中央スポーツセンターになっている。
 - 大阪市立中央会館(中央区民センター)は、市民の交流・活動の場として、500人収容のホールと3つの会議室、1和室を備える。
 - ・昭和62年3月、「南小学校」に統廃合され閉校となった「道仁小学校」の跡地である。
- (7)「法案寺」 島之内2丁目10
 - ・寺伝によれば、推古天皇の頃(593~628年)に聖徳太子が志宜野(しぎの)(現・城東区嶋野)に法案寺を建立し、寺号は仏法弘通の公案をしたところから名付けられたとされる。
 - ・「天文日記」には、法案寺第3世・正教が蓮如に帰依したために、蓮如が法案寺の敷地を借地して石山本願寺を建立し、後に寺地を譲渡したという記録がある。

・法円坂町付近にあった法案寺は、豊臣秀吉の大坂城築城に伴って天正11年(1583)、生玉明神とともに馬場崎(天王寺区生玉町、生国魂神社の所在地)に強制移転させられた。なお、法円坂の語源は法案寺からきたものとされ、「法案」から「法眼」、そして「法円」に転訛したものとされている。

・明治時代の廃仏棄釈で寺領を失い、明治16年(1883)6月に現在地で復興再建された。
・本尊は薬師如来であるが、聖観音と歓喜天が有名で、歓喜天は「日本橋の聖天さん」と呼ばれて信仰を集めている。また、境内の弁財天は「大阪七福神」の一つになっている。

(8)「高島屋・長堀店」と「丸善石油(株)本社」

島之内1丁目20

・大正11年(1922)10月、堺筋長堀交差点南東角の南側に「高島屋・長堀店」(地上7階・地下1階)が新築され、心齋橋筋から移転してきた。

昭和14年(1939)7月、難波に新設された南海店(昭和7年開店)に統合されるまでこの地にあった。

・昭和20年の空襲にあったが、全面改築され、昭和29年に(株)丸善石油(昭和8年・設立→昭和61年4月、大協石油と合併しコスモ石油に)が本社を置いた。大正11年新築の「高島屋・長堀店」

・昭和36年、南側に丸善石油(株)が本社ビルを新築した。

・その後、「白水ビル」、「アルテビル長堀橋」と名を替え、オフィスビルとして活用されていたが、平成19年10月から解体工事が始まり、駐車場となっていた。

・現在、南側では、令和3年9月竣工予定で「大阪厚生信用金庫新店ビル」(地上14階・地下2階)の新築工事が進められている。

北側は大手家具量販店「ニトリ」の所有地となっているが、予定は決まっていない。



(9)「心学明誠舎跡」

島之内1丁目21

・「心学」は、「石門心学」とも呼ばれ、京都の石田梅岩(1685~1744)が日常生活や商人道徳をわかりやすく講義したもので、大坂の商家の主人たちからも支持され、梅岩の孫弟子である井上宗甫(三木屋太兵衛)が、天明5年(1785)に心齋橋筋の居宅の一部を開放し、「心学明誠舎」を創立した。

・その後、金田町(現・博労町)に新学舎が設けられたが、学舎を小学校に提供したため、明治14年(1881)、この地に学舎が開設され、昭和13年(1938)までであった。

(10)「日本キリスト教団島之内教会 東心齋橋1丁目6」

・明治15年(1882)、現在地に会堂が建てられ、昭和4年(1929)に現会堂が建設された。昭和20年の大空襲で炎上したが、昭和25年に復興工事が完成している。

国の「登録有形文化財」に指定(平成21年)された。

(11)「心齋橋角座」

東心齋橋1丁目19(鰻谷スクエア B1F)

・平成20年に閉館した「道頓堀角座」の跡地に、平成25年、劇場「DAIHATSU MOVE 道頓堀角座」が再開されていたが平成30年に閉館した。その後、松竹芸能が新たなライブスペースとして平成31年1月、鰻谷スクエア 地下1階に椅子席120席の演芸場として開館したもの。お笑いの他、OSK日本歌劇団の公演、ライブイベント等、多様なジャンルの公演が行われている。

(12)「丸金食品(株)」

島之内1丁目13

・菓子、つまみ、珍味の製造・卸販売会社で、昭和26年(1951)に瓦屋町で「突出し問屋丸金商店」として創業し、昭和29年12月に法人化して現在地に本店と工場を置く。

(13)「百姓一揆心齋橋プラザビル」 島之内1丁目18

・長堀橋交差点南東角に建つ特徴ある10階建てビル(平成16年竣工)。以前は「わんわんネバーランド大阪店」であったが、平成18年6月に閉店し、そのあと、居酒屋「百姓一揆」グループの本部が入っている。

- 「アルグラッド ザ・タワー心齋橋」 東心齋橋1丁目8
 - ・平成20年12月竣工の地上37階・地下1階建て賃貸高層タワーマンション(225戸)
- 「ブランズタワー・ウェリス心齋橋NORTH」 東心齋橋1丁目50(長堀交差点・南西)
 - ・平成28年2月竣工の36階・地下1階建て高層タワーマンション(246戸) 高さ125m
- 「ブランズタワー・ウェリス心齋橋SOUTH」 東心齋橋1丁目(同上の南並び)
 - ・平成29年11月竣工の30階・地下1階建て高層タワーマンション(202戸) 高さ99m
- 「カスターリアタワー長堀橋」 島之内1丁目15
 - ・平成19年3月竣工の28階建て賃貸タワーマンション(133戸)
- 「ファミリー心齋橋EAST」 島之内1丁目
 - ・平成11年3月竣工の15階建て賃貸タワーマンション(戸)

4.島之内西部地区 … 西心齋橋1丁目&西心齋橋2丁目

(1)「アメリカ村」(アメ村)

・御堂筋の西側、かつて炭屋町と呼ばれ木材加工などの倉庫などが多い一画であったが、周防町通りの御津公園(通称:三角公園)を中心に、ファッションやライブハウス・映画館など若者をターゲットとした多くの施設・店舗が集まる「若者のメッカ」に変身した地区。

・昭和44年(1969)、三角公園前にオープンしたカフェ「LOOP(ループ)」に若いデザイナー達が集って、“この街をただの倉庫街にしておくのはもったいない”という声が自然発生的に出始め、グラフィックデザイナーの黒田征太郎や下着デザイナーの鴨居羊子ら新進気鋭のクリエイター達からの支持も受けて、新しい文化を発信する街へ転換が図られていった。その始りが、空倉庫や駐車場を活用して、日本ではまだ珍しく高価で入手困難だった中古レコードやジーンズ、Tシャツ、サーフボードなどがフリーマーケット形式で販売されると、本場アメリカのアイテムが話題となって多くの若者達が集まるようになり、テレビやファッション誌などに「アメリカ村」として紹介されるようになった。

「御津公園(三角公園)」 西心齋橋2丁目11

・東西に伸びてきた周防町通りを北堀江通へ向けて屈折させた地点に生じた三角形の区画の公園で、アメリカ村の中心的存在。

イベントスペースやライブステージがあり、横のビルに日本唯一の可動式ビジョンもある。

「石津商店」…ヴァンチャケット創業者石津謙介の創業地。(三角公園・北側)

「BIG STEP(ビッグステップ)」 西心齋橋1丁目6(周防町通り・北側)

・平成5年3月、もと大阪市立南中学校(昭和60年3月・移転)の跡地に開業したファッションビル(地上7階・地下4階)で、アメリカ村のランドマーク的存在。

7階まで吹き抜けにある巨大階段が若者の休憩スペースに。

館内にはアパレルと飲食店舗に加え、ライブハウスの「BIG CAT」、日本でも数少ないミニシアター「シネマート心齋橋」、スポーツクラブなどがテナントとして入っている。



「ピース・オブ・アース(PEACE ON EARTH)」の壁画

・「ビッグステップ」の東南、関西電力・道頓堀変電所の壁面にイラストレーター・黒田征太郎らが、昭和58年に制作したアメリカ村のシンボルとなった壁画。

今、まさに羽ばたこうとしている翼を広げた鳥人の画に、“地球に平和を”(PEACE ON EARTH)の言葉が添えられている。

「BIGSTEP WEST」 西心齋橋1丁目16

・平成4年9月、「心齋橋パルコ・DUE(デュエ)館」が開業していたが、平成23年9月に閉店し、そのあとを引継ぐ形で、平成24年からビッグステップの別館として「BIGSTEP WEST」に改称・オープンした。スケートボードパークやドレスショップ、音楽スタジオなどが設置されている。

・また、近くには、ボウリング場「サンボウル」が入る「BIGSTEP SOUTH」もある。

「心齋橋オーパ(OPA)」 西心齋橋1丁目4

・平成6年11月にオープンしたイオングループの大型商業ビル(地上11階・地下2階)で、アパレル・ファッション系やコスメストアのほか書籍店、エステ、レストラン等が入っている。

「心齋橋アーバンビル(旧・関西アーバン銀行本店)」 西心齋橋1丁目2

・「ホテル日航大阪」北側にある昭和49年竣工の地上16階・地下3階建てビル。

かつては、日本長期信用銀行大阪支店などが入っていたが、平成16年から関西アーバン銀行が本店を置いた。現在は1・2階に「関西みらい銀行」(下記)の営業部が入る。

・「関西アーバン銀行」は、平成16年に関西さわやか銀行(もと幸福銀行から営業譲渡)と関西銀行(もと関西相互銀行＝昭和26年創立)が合併して誕生した第二地方銀行で、平成20年には滋賀を地盤とするびわこ銀行(もと志賀相互銀行＝昭和26年創立)を吸収合併したが、平成31年4月に近畿大阪銀行と合併し、「関西みらい銀行」(本店＝備後町2丁目)となった。

「タワーレコード」

・アメリカ・サクラメントに本社を置く大手CDショップチェーンで、平成2年に心齋橋店を開き、若者に人気を博してアメリカ村発祥の中心的ショップであったが、平成18年8月閉店。

(2)「ホテル日航大阪」 西心齋橋1丁目3

・昭和57年(1982)9月開業の高層ホテル(地上32階・地下4階建て、客室数603)。

御堂筋に面し、地下2階で大阪メトロ「心齋橋駅」に直結しており、地下2階には”美食の回廊”と称するレストラン街がある。(うどんすき「美々卯」、焼き肉「但馬屋」、お好み焼「千房」、和食「禅園」、おでん「すみ吉」、水炊き「博多華味鳥」ほか)

・チャペル(7階)と神殿式場(6階)を持ち、大・中・小10の宴会場と32階にはグランビュウバンケットルーム「スカイテラス」を備える。

(3)「在大阪大韓民国総領事館」 西心齋橋2丁目3

・昭和24年(1949)に「駐日本韓国代表部大阪事務所」として発足し、昭和41年に総領事館に昇格して東区博労町5丁目に庁舎が置かれたが、昭和49年(1974)、ここに移設し、現在は庁舎建替えに伴い五味ビル(久太郎町2丁目)を仮庁舎としている。

・韓国人同胞団体の育成や韓国と日本の地方自治体間交流、韓国企業の日本進出や投資への支援、韓日文化交流支援、パスポート、在外国民登録等の業務を行っている。

(4)「御津八幡(ハチマン)宮」 西心齋橋2丁目10

・「御津宮(ミツぐう)」、「島之内八幡宮」とも称され、応神天皇・仲哀天皇・比咩(ヒメ)大神を祭神として祀る。創建は8世紀中頃とされ、昭和20年の大阪大空襲で焼失したが、昭和35年(1960)に社殿が再建された。

・平成元年まで、当神社南側の八幡筋に沿って「八幡町」の町名があった。

(5)「三津寺」 心齋橋筋2丁目7(御堂筋の東側)

・真言宗御室派の準別格本山で、「みってらさん」の愛称で親しまれている。応神天皇を葬り奉った墓所として、行基が楠を植えたのが始まりとされる。本尊は十一面観音菩薩。

・寺院名は三津(御津)という地名に由来し、この地は、中世に荘園が成立する頃に三津寺荘という地名になり、大坂の陣以前まで三津寺村だったが、以後、島之内の開発により大坂三郷に入った。江戸時代から平成元年まで、南側の三津寺筋に沿って「三津寺町」の町名があった。現在、全面的な改築工事中で、ホテルが併設される予定である。

(6)その他

「アクロスビル」 心齋橋筋2丁目6(御堂筋の東側＝三津寺の南向い)

・昭和60年竣工の円筒型12階建て商業ビル。サロン、ダンススクールなどが入る。

「ローレルタワー心齋橋」 西心齋橋1丁目

・平成31年2月竣工の29階建て分譲タワーマンション(140戸)

「サンメゾン心齋橋セレブリテ」 西心齋橋1丁目10

・平成18年1月竣工の18階建て分譲タワーマンション(85戸)